

港北力

こう ぼく りょく

発見☆通信

はっけん つうしん



港北区キャラクター
ミズキー

港北区の元気のもと発見!

発行：平成 23 年 12 月 22 日 木曜日

港北区地域力発見プロジェクト 事務局
地域振興課地域力推進担当
福祉保健課事業企画担当

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町 26-1
☎ 045-540-2247 FAX 045-540-2245

Vol.5

contents

- 1 地域のチカラ応援事業の活動紹介
- 2 地域のチカラ応援事業の続き
元気な地域づくり推進事業の紹介
- 3 全国女性消防操法大会に出場!!
- 4 地域での出会いから始まった
“キルトの輪”
～100枚のベッドカバー～
地域・家庭で3R夢を実現!

地域のチカラ応援事業 “イキイキ! 地域活動交流会!!” 開催!

平成 23 年 11 月 26 日(土)に“地域のチカラ応援事業”に応募している団体による地域活動の発表会“イキイキ! 活動交流会!!”を、慶應義塾大学の来往舎シンポジウムスペースで開催しました。発表団体は、日頃の活動を知ってもらおうと、力が入った発表を行っていました。また、会場内には展示や談話スペースを設け、交流会を実施しました。“地域のチカラ応援事業”の応募団体と各種活動団体が活動の輪を広げるきっかけとして短い時間でしたが、団体同士情報交換を行っていました。



発表者に熱い眼差し

最終報告会は、平成 24 年 3 月 10 日(土)に港北区役所 4 階 1 号会議室で開催します。今号では、地域のチカラ応援事業で活動されている 4 団体(k i の会、菊名の未来を考える会、港北区民ミュージカル、わがまち篠原)を紹介します!

新コース「パートナーシップコース」がスタート!

平成 23 年度から補助金の交付を受けずに『港北区地域のチカラ応援事業』に参加する「パートナーシップコース」を新たに設け、参加団体を募集しました。今年度は、4 団体が「パートナーシップコース」に参加しています。



「ボランティアつくりの展示」の展示

おかあさんといっしょ0歳からのコンサート

「k i の会」は、平成 23 年 8 月 13 日(土)に港北公会堂で『愛するこどものうた 4』を開催しました。当日は猛暑にもかかわらず、たくさんの親子がつめかけていました。親子で楽しめるコンサート! が売り物のこの活動。会場のステージ前のハイハイスペースほかに、館内には、プレイルームや授乳室、ちょっとの間のお子様預かりサービスなどあり、子どもに配慮した工夫が盛りだくさん。ステージ上では、ヴァイオリンなどの演奏、女性コーラスの歌声にと親子で過ごす時間があっという間に過ぎていきました。

今回は、平成 24 年 2 月 26 日(日)港北公会堂で開催します。
●お問い合わせは、Ki の会事務局へ!
E-mail : kinokai@live.jp
TEL : 090-8305-2121



息の合ったコーラス

子どもが行き交い、地域全体が安全に

「菊名の未来を考える会」は、子どもたちに社会性を学んでもらう活動や、文化芸術の機会をつくる活動、菊名地区の文化を継承する活動などを通し、地域・社会貢献活動を行い、豊かで安心して住めるまちづくりを目指し、エコキャップ運動や、菊名駅を中心とした七夕祭りやハロウィンウィークの開催等を行っています。

平成 23 年 10 月 23 日から 30 日にかけては、第 2 回となる「菊名ハロウィン・ウィーク～笑顔の見える街～」を開催しました。期間中は、商店街の参加店舗でお菓子がもらえるイベントやポスターコンテスト、仮装コンテスト、チャリティコンサートなどが行われ、地域の方々、菊名駅利用者を楽しませていました。



ハロウィン
仮装コンテスト

ホームページ検索は、

地域話題をミュージカルに！

『港北区民ミュージカル』は、平成15年に誕生した「地域密着型ミュージカル」です。港北区内在住・在学・在勤の方々が参加し、地域話題を題材にした区民ミュージカルを制作し、公演を行っています。港北区民ミュージカルの魅力は、子どもから大人まで一緒になって5か月以上、厳しい稽古を重ねてひとつの舞台を創り上げる過程と、一人一人の個性を生かした役柄を作りあげていることです。平成24年1月には、港北区民ミュージカル Vol.9「ミラクル アイランド」の公演を予定しています。

港北区民ミュージカル Vol.9『ミラクル アイランド』

平成24年1月27日(金)18:00・28日(土)13:00 / 18:00・29日(日)13:00

会場:港北公会堂 チケット:4歳以上999円(全席自由)
※4歳未満のお小様の御入場は、御遠慮いただいています。

ホームページ検索は、



「ミラクル アイランド」の本番に向けた練習

ホームページ「わがまち篠原」をデモンストレーション！

篠原地区では、各自治会町内会やボランティア団体によって、いろいろな福祉活動・地域活動が行われています。こうした活動をさらに充実させていくため、地域福祉保健計画の策定を通し、「交流」「ボランティア」「安心・安全」「相談・情報」という4つの分科会を立ち上げ活動してきました。「相談・情報」分科会では、ホームページづくりが進められました。ホームページのタイトルは「わがまち篠原」で、地域活動団体やサークル、医療機関の情報、各種活動についての報告が掲載されています。

地区のホームページとしての内容のさらなる充実を目指しています。平成23年10月8日(土)及び9日(日)に行われた篠原地区センター・篠原地域ケアプラザ平成23年度合同文化祭では、会場内でホームページをスクリーンに映写し、デモンストレーションを行うなど地域へのPRにも努めています。

ホームページ検索は、

文化祭でホームページをPR



元気な地域づくり推進事業☆異世代交流をテーマにまちづくり — 新羽地区 —

新羽地区では、「ひっとプラン港北」新羽地区計画『「和、輪、話」のまちにっば』を策定し、「平和・福祉の「和」、みんなが手をつなぐ「輪」、みんなが話し合う「話」」をスローガンにまちづくりを進めています。また、その中で、新羽地区の絆をより強くしていくため、「異世代交流を、より活発にしていく。」ことを基本テーマのひとつとして、地域福祉の取組を進めています。「子どもからお年寄りまで幅広い世代が集まるイベントの開催が、異世代交流のきっかけづくりになります。」と新羽町連合町内会の中山会長。今年度は、従来、単位自治会町内会毎に実施されていた『敬老の集い』を、地区連合町内会、地区社会福祉協議会、スポーツ推進委員、青少年指導員、民生委員・児童委員、子ども会、地域のボランティアグループが連携し、平成23年9月18日(日)に『新羽町合同敬老の集い』を開催しました。

会場となった新羽小学校では、地域の皆様による民謡や踊りの他、中学生のリコーダーや小学生による新羽ソラン、ダンスも披露され、参加者を楽しませていました。



会場の様子



新羽中学校リコーダー



福寿奏の民謡



大新羽音頭

元気な地域づくり推進事業とは・・・

平成19年度から22年度までの「身近な地域・元気づくりモデル事業」を踏まえ、平成23年度から新たに、自治会町内会をはじめとした様々な主体が連携・協働しながら、課題解決に取り組み、魅力ある暮らしやすい地域をつくっていくための支援を行います。また、地域が主体的・継続的に課題解決に取り組めるよう、地域運営補助金を創設し、団体間の連携を進め、地域活動を支援します。

全国女性消防操法大会に出場!!



競技開始!

放水!

平成23年10月19日(水)に横浜市消防訓練センターにおいて、「港北女性消防隊」が2年に1度開催される「第20回全国女性消防操法大会」に神奈川県代表として出場しました。

「港北女性消防隊」のメンバーは、港北消防団の小林満江第八分団長率いる、女性消防団員(計85名)の中から選抜された選手7名で構成され、2年前から計70回の練習を重ねてこの大会に臨みました。

大会当日は、エンジンや強風によるトラブルで操法中止になる隊がいる中、44都道府県中19位と健闘し、さらに4番員の佐藤古代隊員は、「優秀選手賞」にも選ばれました。



写真左側から
3番員 三浦みわ子さん 指揮者 加藤康子さん
4番員 佐藤光代さん 隊長 長島ひろ子さん
補充員 山本紀子さん 1番員 廣井恵子さん
2番員 久保田緑さん



また、茅ヶ崎市・三浦市・港北消防団による倒壊家屋からの救助救出・応急救護・放水訓練も展示披露しました。



代表 高橋紀夫さん

エコについても考える「こうほく消費者のつどい」開催しました!

消費生活推進員は、消費者被害未然防止のための講演会開催など、皆様の身近な地域で活動しています。また、環境に配慮した購買行動の推進や消費生活に関する調査活動なども行っています。



会場の様子

私たち消費生活推進員の活動報告の場である「こうほく消費者のつどい～消費者大学～」を、平成23年11月29日(火)に港北公会堂で開催しました。エコ作品の展示販売や地元産の野菜販売、食生活ジャーナリストの佐藤達夫氏をお招きし「おとなの食育」に関する講演会も開催。各地区趣向を凝らしたエコ作品を展示・販売し、来場した方からは「エコを考えた作品の発表が良かった」「アイデアも愛情もいっぱい作品♡」などの声が聞かれ、完売した地区もあったほどで大盛況でした。

☆消費生活推進員 港北区代表 高橋紀夫さんのコメント

エコ作品や消費生活推進員の活動報告をたくさんの区民の方に見ていただくことができました。皆さんの生活のヒントになったのではないかと考えています。

地域での出会いから始まった“キルトの輪” ～100枚のベッドカバー～

特別養護老人ホームで、キルト作成の指導をボランティアで行っている荒井美夏さん、勝山泰江さんにインタビューしました！

☆二人の出会い・・・

今から10年程前、子どもを遊ばせに行った公園で出会ったのが始まりです。ママ友となり、子育ての悩み等を話しているうちに、共通の趣味が「パッチワーク」であると知り、一緒にキルトを作り始めました。

☆活動のきっかけは・・・

特別養護老人ホームの施設長(2006年当時)がキルト作りの指導者を探しており、区民活動支援センターからの紹介で講師をしたのがきっかけです。その後、入居者の家族から「施設内のすべてのベッドカバーをキルトで飾りたい」と希望があり、施設長からの働きもあり、毎週土曜日の午後に施設内フロアに集まって、荒井さん、勝山さんの指導の下、キルト作りに励んでいます。今では「キルト作り」の場が、入居者やその家族との情報交換の場であり、交流の場となっています。

☆現在は・・・

活動を開始してから4年が経過し、28枚のキルトが完成し(28枚目は東日本大震災の被災地に送った)、ベッドカバーとして愛用されています。その他に「はまっこふれあいスクール」や「大綱中学校コミュニティハウス」等でも教えており、バッグ等も作成しています。材料の生地は、活動を知った方から譲っていただいている、お二人は大変感謝をしています。今後は、一緒に活動をしてくれる仲間を増やし、特別養護老人ホームの入所者の家族の方々とともに、夢のゴール“100枚のキルト作り”を目指し、活動を続けていきたいと話していました。

※「パッチワーク」とは、さまざまな柄布、素材、色、大きさ、形の小さい布を接ぎ合わせて、1枚の大きな布にする技法です。ベッドカバーやクッションなどでよく用いられます。また、表布にパッチワークをしてから、裏布との間に綿などをはさんでステッチしたものを、「パッチワークキルト」といいます。

☆活動についてのお問合せ先：勝山泰江 E-mail：yasue530@ezweb.ne.jp

☆荒井美夏さんのプロフィール(港北区在住)

財団法人日本手芸普及協会 パッチワークキルト指導員

手芸指導者の育成と一般への普及を二本の柱で活動をしている(活動歴10年)

詳細については、ホームページ [日本手芸普及協会](#)

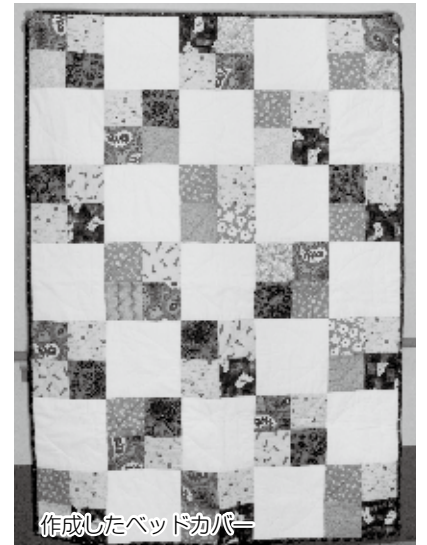
[検索](#)

☆勝山泰江さんのプロフィール(港北区在住)・・・キルト作家

日本だけでなく海外の愛好家ともキルト作りを行っています(活動歴25年)



作成したバッグ



作成したベッドカバー



荒井さん(左端)、勝山さん(右端)

地域・家庭で3R夢を实践！

平成21年に環境事業推進委員から希望を募り、地域・家庭で3Rを考え実践できるように「3Rサポーター」を擁立しました。女性を中心とした「3Rサポーター」は、現在港北区内いろいろな地域で活動しています。

3Rサポーターの皆さんの取組を紹介します。



①

☆リデュース(発生抑制)の取組

港北区内のエコパートナー協定店と協働で「マイバッグキャンペーン」を一年間に数回開催し、積極的な取組を行っています。

☆リユース(再使用)の取組

不用品の再使用を目的とした「フリーマーケット」を開催しています。

☆リサイクル(再利用)の取組

港北区内の各地区に対して資源集団回収のPRを行っています。

このような活動を通し、環境意識を高め循環型社会を目指して今できる3R行動を推進しています。



②



③

① 3Rサポーター

代表 赤井さん(右端)

② マイバッグキャンペーン

③ 環境にやさしいフリーマーケット